

3 news
300万本の花、秋晴れに映える

「かむらみどり守り隊」主催のコスモスマツリが11月3日、甲賀町神区で開催されました。天候に恵まれたこの日、鮮やかに咲きそろったコスモスを楽しむと、市内外から多くの人々が訪れました。約30haの転作田に植えられたコスモスの数は300万本といわれます。

一面に広がる花々が来場者を魅了し、あま酒やポン菓子で振舞われた会場は多くの家族連れでにぎわいました。



▲眼前に広がるコスモス畑

4 news 多羅尾小学校伝統のオペレッタ

初の出張公演、400人の児童を前に熱演

多羅尾小学校伝統のオペレッタが11月13日、貴生川小学校で上演されました。

今回は市内で最も児童数の多い貴生川小学校での初の出張公演となりましたが、多羅尾小学校の7人の児童は多くの観客を前に堂々とした演技を披露しました。

今年度の演目は「注文の多い料理店」で、一人二役をこなす熱演に、観劇した約400人の児童たちは大きな拍手を送っていました。



◀フィナーレで声を合わせる7人

1 news 雲井小創立記念式典

110周年祝い、大合唱

創立110周年を記念する式典と音楽発表が10月28日、雲井小学校で催されました。全校児童110人による「雲井の大仏物語 東大寺大仏の里帰り」と題された音楽発表は、都の置かれた天平時代の雲井の歴史を物語調に表現したものです。

児童たちは練習に励んだ成果を出し切り、会場に詰めかけた保護者や地元の皆さんとともに、母校の110周年を祝いました。



▲全校児童による音楽発表

2 news

第29回あいの土山マラソン

秋の土山路、駆け抜ける

第29回あいの土山マラソンが11月1日開催され、約3700人が健脚を競いました。

本コースは激しいアップダウンが魅力で、毎年全国各地から多くのランナーが土山に集います。

当日は天候に恵まれ、ひとあし早い色づきを見せたダム沿いのコースをランナーが駆け抜け、沿道に集まった多くの住民が温かな声援を送りました。



▼号砲で一斉にスタートを切る選手たち

元気なまちがど

DEAI KOKA

であいこうか

剣道 小学生全国大会2位(団体)

貴生川小6年

いぬいゆう き 乾湧稀さん

佐山小6年

まつやまだい き 松山大輝さん



大阪市此花区の舞洲アリーナで9月20日に開かれた第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会で、滋賀県は見事全国2位となりました。県代表として全国という大舞台で躍動した、中堅の乾さんと大将の松山さんにお話を伺いました。

■全国大会を振り返っていかがですか？

乾：当日を迎えるまでは緊張していました。でも全国大会は3回目でしたので、試合が始まると平常心でいつも通りの力を出せました。

松山：予選を勝ち抜いて出場した全国大会は初めてだったので、最初の試合は緊張しました。でもその後、6回戦となる決勝まで落ち着いて試合ができました。

■最も印象に残っている場面は？

乾：準決勝の京都府戦です。先鋒が2本負け、次鋒が引き分けての自分だったので、絶対に負けられない状況でした。しかし、そんなときでも自信をもって試合に臨み、面で一本勝ちして次につながることができました。

松山：準決勝の京都府戦です。敵の大将は自分より体が大きく、向かい合ったときには少し気圧されました。でも、夏休みのハードな強化合宿を乗り越えてきたことが自信となって落ち着くことができ、そして大将として役目を果たすことができました。

印象に残っているのはチームの勝敗を担って戦った準決勝だと口を揃える二人。惜しくも優勝には届かなかったものの、決勝まで勝ち進んだ試合を誇らしげに振り返ってくれました。

